

特別支援教室のお便り

10月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

暑い日が続きましたが、やっと気候が良くなってきて外を歩くときにほっとできるようになりました。これから秋本番です。勉強も運動も遊びも趣味もじっくりと味わえる季節となりました。皆さんは、どんなことをじっくりと味わいますか。ぜひ、何かにじっくり取り組む時間を作ってみてください。

「特別支援教室の利用について」「中学校特別支援教室の利用について」のご提出を

◇現小1～小5（各年度前期より利用開始）で、令和5年度1学期からの指導継続の希望について
→ 『特別支援教室の利用について』に必要事項を記入し提出

◇現小6で、進学先の杉並区立中学校での4月からの指導継続の希望について
→ 『中学校特別支援教室の利用について』に必要事項を記入し提出

受験等を経て、杉並区立中学校以外の中学校に進学が決定した方は、特別支援教室の利用希望を取り下げることが可能です。

※いずれも10月7日（金）までに、在籍学級担任、特別支援教室専門員、特別支援教室教員のいずれかにご提出ください。

名前を呼ばれること

人間が生きる上で一番大切なものって何だと思いませんか？

「お金」、「愛」、それとも「夢」でしょうか……。

どれもとても大切なものですね。

誰にも共通していて一番大切なものに、「自分」があります。

自分には居場所がある、自分には存在価値がある、と思えることは、生きる喜びにつながり、生きる意味そのものになります。

そして、自分が大切にされていると感じる一番の方法は、名前を呼ばれることなのだそうです。

特別支援教室では、授業中の会話の中に子供本人の名前を何回も入れて話をするようにしています。一人一人丁寧に呼名します。

子供たちどうしが話をする時も、目と目を合わせて丁寧に呼びかけていたらすかさず褒めます。

「〇〇さんは、」「〇〇さんって、」「すごいね！〇〇さん。」というふうに、会話の中に、名前をなるべく多く入れるように意識して支援しています。

たかし教室での活動では、子供の育つ土壌を耕すことを大切に指導を行っています。

活動の中で心地よい関わり合いをたくさん経験し、自ら大切なことを学び取れるよう工夫しています。子供の良さを引き出し、成長しようとする力を応援する場でありたいと思っています。



◎小集団学習「みんなの時間」

「しぐさや表情から相手の意図を読み取る活動」

- 言葉を使わずに、身振り手振りで相手に情報を伝える。
- 人の表情や動作から、相手の意図を読み取る。
- チームで協力して活動する。



「協力する運動」

- 協力して楽しむ。
- ペアとコミュニケーションをとり、活動を円滑に進める。

「推理する力」

- 相手の反応や得た情報から有効な質問を考えることができる。
- 複数の情報から推理することができる。
- ルールを守り、友達の関わりを楽しむことができる。

「ボディーイメージ（身体意識）を養う」

- 体の部位の位置や動きに意識を集中させながら、いろいろな動きをする。
- ボディーイメージ（身体意識）を養うことにより、自分のイメージ通りに動く力を高める。
- お互いに運動することを通して、友達との関わりを深める。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他

--

